

平成20年度大学院講義 新国際基盤生命学特論2
グローバルCOE「生体シグナルを基盤とする統合生命学」

2008年10月23日(木)

場所：理学部2号館4F講堂

Jan-Michael Peters 博士

Research Institute of Molecular Pathology (I.M.P), Austria

講義：Chromosome Biology

15:00 – 16:30: Lecture #1

17:00 – 18:30: Lecture #2 (希望する学生との討論)

J M Peters 博士は、細胞分裂および染色体分配の制御機構において世界をリードする研究者で、博士の講演はいつも大変分かりやすいと定評があります。ぜひ多くの方のご来聴を期待します。

●Wendt, KS., et al. Cohesin mediates transcriptional insulation by CCCTC-binding factor. *Nature*. 451(7180):796-801 (2008).

●Petronczki, et al. Polo-like kinase 1 triggers the initiation of cytokinesis in human cells by promoting recruitment of the RhoGEF Ect2 to the central spindle. *Developmental cell*. 12(5):713-25 (2007).

●Kueng, S. et al. Wapl controls the dynamic association of cohesin with chromatin. *Cell*. 127(5):955-67 (2006).

●Hirota, T. et al., Histone H3 serine 10 phosphorylation by Aurora B causes HP1 dissociation from heterochromatin. *Nature*. 438(7071):1176-80 (2005).

- ・履修届は各研究科を通して行ってください。
- ・成績評価は出席とレポートによって行います。
- ・レポートについて： 3名の講師のうち2名の講義内容をA4レポート用紙1枚程度に要約する。講義終了後2週間以内（11月7日まで）に理学系研究科生物科学専攻事務室（理学部2号館1F154号室、担当山崎さゆり、内線24018）に提出。または、メールで以下の宛先へ。メールの場合は、題名「新国際基盤生命学特論2」とする。受領をかならず返信メールでお知らせします。返信がなければ再度確認のこと。

柳澤 春明<gcoe_lec@biol.s.u-tokyo.ac.jp>

生物科学専攻分子生理学研究室（内線24427）

問合せ先： 理学系研究科・生物科学専攻・武田（内線24431）